

東京聖栄大学 後援会会報

編集発行
東京聖栄大学
後援会



区より提供された苗の植え込み



地域の清掃活動

◆部・同好会の地域活動◆

●同好会「あぐり」(写真上)

平成二十二年四月に本学と葛飾区が結んだ協定に基づき、区からポット苗等が年二回提供され、プランターへの植え込みや維持管理を行い、地域の美観向上に取り組んでいる。

●聖栄ピアヘルピングワークス(写真下)

新小岩駅北口地域の美化向上を目指し、毎月第三土曜日に行われている清掃活動にボランティアとして参加している。

会長挨拶

後援会会長 土屋 和夫



後援会の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素より後援会活動にご理解、ご協力頂き心より感謝申し上げます。

上げます。

さて、本年四月の入学式終了後に開催されました、後援会総会におきまして会長を仰せつかりました土屋和夫です。この一年間後援会会員の皆様にご指導、ご鞭撻を受け賜りながら大任を全うしていく所存であります。平成十七年に発足した後援会も今年で九年目を迎えます。

後援会といたしましては、多くの学生が学業に専念できる一層の教育環境づくり、そして来春卒業予定の四年次生への就職

平成二十五年年度保護者会について

今年度の後援会・大学共催による保護者会を、九月二十八日(土)に開催することに決定した。

保護者の皆様にはぜひご出席いただき、ご子息、ご息女の学内での様子、就職の展望等の報告について学年担任との懇談を予定している。本学としてはこれらを通じて、学生への教育内容についてご理解を深めていただきたい。

保護者会終了後は、後援会主催による教員との情報交換会を行い、学長を始め学科長や学年担任、教科担当教員との懇親会を予定している。(事前予約制希望者のみ)保護者の皆様のご参加をお待ちする次第である。



昨年度の保護者会

総会・役員会報告

役員会報告

三月二日(土)四役会、三月十六日(土)に役員会全体会が夫々開催された。

先ず、平成二十四年度事業報告、同決算報告並びに会計監査報告があり、慎重審議の結果、同報告は承認された。

引き続き、平成二十五年年度事業計画案同予算案を審議、夫々承認された。

さらに、進級する一部の役員の方の二十五年年度留任が決定。

総会

四月一日(月)の大学入学式当日、本学わたなべ記念館に於いて、ご父母(保護者)多数の出席を得て総会が開催された。初めに、昨年度の事業報告、同決算報告並びに会計監査報告があり、異議なく承認された。

引き続き、本年度事業計画案、同予算案が承認された。

最後に、役員会の改選が行われ、選任・委嘱された新役員の方々の御紹介の後、新会長には土屋和夫氏が選任された。

併せて、平成二十五年度役員紹介があり、議場にて満場一致で承認された。

管理栄養学科

充実期を迎えて質の高い 管理栄養士を目指そう

管理栄養学科長 田所 忠弘



今春の管理栄養士国家試験は昨年に比べて難しかったこともあり、新卒管理栄養士養成課程平均合格率を四・〇ポイント下回ってしまった。本学からは四十八名の合格者を出すことが出来たが、やや力不足であった。

ここ数年、実力向上を目指してカリキュラム内容の充実度を増しながら卒業生が誇れる学科づくりを行っている。昨年度からスタートした「管理栄養士概論」や四年次生の「ゼミナール」もその一環となっている。また、卒業生からのアドバイスを直接聞くことが出来る特別補講的な企画も網羅しながら先輩・後輩の絆も太くなるよう、同時に国家試験対策へも反映されるような取り組みも始めている。早く「管理栄養士概論」の効果が現

れ、国家試験合格者の安定向上とともに多くの高校から本学を目標に目指すようになってもらえよう先生方が一丸となって学生指導に努力している。

さて、七号館の建設も順調に進み、さらに新しいキャンパスへと日に日に変化している中であつて、諸先生方も様々な自治体・企業等との共同研究や五月に本学で行われた日本食育学会第七回学術大会、さらには年々大きく発展している葛飾区との食育活動連携など、これまで以上に社会との実践的な繋がりを直に学生に伝えられる点も見逃せない。科学的なエビデンスが重要視される本学科生にあつては、しっかりと学理の側面と食習慣や文化伝統を背景とした食生活の実践側面の両面をわきまへ、人の健康に役立つ管理栄養士を目指して大いに勉強してもらえよう期待している。また、臨地実習は学生の成長に大きな効果をもたらすものであるがゆえに計画と実行には後援会の理解と支援が要ともなる。



学生支援センター

(学生支援・就職支援)

講座

●キャリアリサーチ

食品学科 二・三年次生を対象にキャリアリサーチ(全六回)を実施した。社会や仕事について学び、自分を見つめ直すなど、実践的な内容であった。また、就職する上で必要な基礎知識・能力を身に付ける良いきっかけとなった。



●マナー講座(一年)

七月一日(月)に新入生を対象にマナー講座を実施した。本学で実施している『マナー向上運動』の一環で、座学のみではなく実技を交えた講座となった。



●学内企業説明会開催

六月二十五日(火)に食品学科四年次生を主対象とした学内企業説明会を開催した。食品関連企業の人事採用担当者が来校され、企業説明等を行った。

参加した学生は、熱心に説明を聞き、積極的に質問をしていた。今回の参加企業様から内定を頂いた学生もおり、着実に内定に結びついていく。



就職支援

本学四年次生の内定状況(八月末日現在)は、昨年度より大幅に上昇し、四〇・八%(昨年度比プラス七・八ポイント)である。学生支援センターでは、今後も担当教員等との連携を密に取り、就職未内定者へ個別に就職支援を継続して行っていく。就職未内定者は積極的に学生支援センターを利用してほしい。

また、三年次生の就職活動は十二月より本格開始となる。就職活動では、事前の準備が非常に重要であり、学生支援センターではSPI対策講座や就職専門業者による就職活動についてのガイダンス、学内業界説明会など多数のイベントを実施予定である。就職希望者は積極的に参加してほしい。

就職支援にあたり、関係者の皆様のご協力をお願いいたします。

大学トピックス

七号館竣工

わたなべ 記念体育館・六号館に隣接した旧テニスコート跡地に七号館が新築され、九月五日(木)に竣工式・竣工披露が行われた。七号館は、四号館の改修計画に伴い、現在四号館にある実験室・実習室、教員研究室等を移設し、六号館と連携して主として食品学科の教育研究に利用される。



食品学科

認定資格を生かそう

食品学科長 丸井 正樹



食品学科の学生が取得可能な資格は八つある。公務員である食品衛生監視員、企業における食品衛生管理者、学会あるいは法人が認定するフードスペシャリスト、フードサイエンティスト、HACCP管理者、食品微生物検査技士、検査分析士、そして調理師である。フードスペシャリストとフードサイエンティストは毎年多くの学生が認定を受けている。食品衛生監視員は狭き門であり、今まで一名がその職に就いている。今年度さらに一名合格者が出て、徐々にこの分野への道が広がってきた。食品微生物検査技士は昨年度から学科として取り組んでいるが、三名が挑んで一名が栄冠を得た。この資格も難関だ。今年度は五名が挑戦する。

資格は、「就職につながる」

「就職活動に有利だ」、「持っているだけで安心だ」と一般に思われている。大学を選ぶ際にも「資格が取れる大学」が条件としてあがる。本学はそのような要望を満たすことのできる大学の一つである。食品学科の学生を見てみると、資格取得に挑戦する学生は総じて勉学に意欲的である。認定を受けるためにはそれ相応の知識が求められる。特定の科目の単位であったり、筆記試験であったり、実技試験が求められるものもある。これらを突破することは資格を得る喜びにつながる。とても貴重な経験だ。もう一つ、見落としてならないことがある。資格を得る過程で経験する「努力」と「思考」である。「努力したこと」と「思考したこと」、この二つの経験は資格取得に挑戦することで得られる。資格そのものより役に立つのではないかと考える。合否も大切ではあるが、学生たちのひたむきな姿勢を大事にした。学科のサポート体制を生かした果敢なる挑戦を期待している。



学友会活動報告

●学友会総会・部・同好会説明会

四月十二日（金）、「学友会総会」が開催され、新役員の選出や新年度の行事予定などが報告された。引き続き、「部・同好会説明会」が開催され、各団体が熱心に新入生の勧誘を行った。



●新入生歓迎会

四月十九日（金）、「新入生歓迎会」が開催され、東京医科歯科大学名誉教授の原論吉氏よ



り、「食と医療とエネルギー代謝学」と題した特別講演が行われた。本学においての学習内容との関連性も強く、新入生は熱心に聴講していた。特別講演に続き、豪華賞品が当たる特別抽選会が行われ、大いに盛り上がった新入生歓迎会となった。

●体育祭

五月二十四日（金）に本学第一グラウンド（船橋市）で、体育祭が開催された。一年次生はほぼ全員が参加し、出席率一〇〇%のクラスもあった。当日は、天候に恵まれ、白熱した戦いが繰り広げられ、歓喜にまつまれた一日となった。



●聖栄葛飾祭（大学祭）予告

今年度の『聖栄葛飾祭』は、十一月九日（土）・十日（日）に「彩食健美」のテーマで開催

される。今年も例年同様、地元地域密着の大学祭として、葛飾区の後援、地元地域の協力等を得て開催される。多数の方のご来場をお待ちしております。

●部・同好会活動

現在の学友会の認可団体は、部七団体（体育系…四団体、文化系…三団体）、同好会十三団体（体育系…七団体、文化系…六団体）の計二十団体である。各団体が熱心に活動をしており、活動領域も学内のみならず、地元イベントへの参加やボランティア活動等、学外との交流も年々盛んになっている。今後、大学関係行事への参加協力もとり、学外でのさらなる活躍が期待される。



副会長挨拶

後援会副会長 平川 真弓



秋晴れの快い季節となりました。後援会の皆様におかれましては、益々のご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃の後援会活動へのご協力に感謝致します。

「学生の時は、自由だから…」とよく耳にしますが、「自由」について考えた事はありますか？

人に迷惑をかけたり、自分勝手にする自由は、「自由」でなく「わがまま」です。「自由」は本来「規律」の中にあつての「自由」です。そうでないと社会の秩序が乱れ、道徳も失われていきます。

今考えると、学生には、学生にしかない自由があつたと思います。その自由を大切に使うって有意義に残りの学生生活を送って下さい。

「子は親の鏡」と言うように、迷った時は、時々立ち止まり「今の自分が、我が子だったら…？」

と考えてみて下さい。自ずと答えが出てきます。

皆さんには、正しい道徳を持つた常識ある人になって、自分の価値を上げて欲しいと思います。

管理栄養学科担任紹介

一年担任 新村真由美准教授

一年副担任 大塚 静子講師

二年担任 渡邊 悟教授

二年副担任 鈴木 三枝准教授

三年担任 高橋 祥子教授

三年副担任 橋場 直彦准教授

四年担任 橋場 浩子教授

四年副担任 佐川 敦子講師

食品学科担任紹介

一年担任 筒井 知己教授



一年副担任 植芝 牧准教授

二年担任 岡本 直也准教授

二年副担任 鈴木 等講師

三年担任 前田 宜昭教授

三年副担任 片山 佳子講師

四年担任 荒木 裕子准教授

四年副担任 吉田 光一講師



なお、各学年の教育・学生指導等において、助手の方々にもご協力いただいている。

平成25年度後援会役員紹介

会長	4NB	夫弓一仁
副会長	3NB	和真光方
副会長	3NB	加代子
副会長	2NB	子江恵生也
副会長	4NA	誠子乃子
副会長	2NA	治子美孝
副会長	2FA	明子代子
監査	4NB	子江恵生也
監査	3NB	悦文利弥
監査	4NA	順美美枝
監査	4NA	義孝孝朋
監査	4NB	清豊恵美
監査	4FB	幸紀智恵
監査	3NA	悦有謙礼
監査	3FA	雅
監査	2NB	美子
監査	2NA	子江恵生也
監査	2FA	子江恵生也
監査	2FA	子江恵生也
監査	2NB	子江恵生也
監査	2FB	子江恵生也
監査	1NA	子江恵生也
監査	1NA	子江恵生也
監査	1NB	子江恵生也
監査	1NB	子江恵生也
監査	1FA	子江恵生也
監査	1FB	子江恵生也
監査	1FB	子江恵生也
監査	1FB	子江恵生也
監査	1FB	子江恵生也

後援会の寄贈

●デジタルサイネージキット (電子掲示板)

デジタルサイネージキット (電子掲示板) 一台を寄贈した。現在、一号館入口付近に設置され、重要な案内等が表示されている。学生も興味を示し、見落としがなくなっている。



●学生会へのパソコンの寄贈

学生会が使用するパソコン一台を寄贈した。学生会では、各種イベント等の書類作成や企画書作成等に使用している。

●スタンドパネル

今年も学生会や部・同好会が使用するスタンドパネル四台を新規購入し、学生会に寄贈した。これで、スタンドパネルの寄贈は計三十台となった。



●就職関係

・関東病院情報・保育園情報 管理栄養士職等で就職する求人見込先のデータとして『関東病院情報』、『全国学校データ保育園』を購入し寄贈した。学生は、学生支援センター内のパソコンで自由に閲覧・加工ができ、活用されている。